

# 釧路市工業用水道事業の紹介

## ○事業の趣旨

釧路市は、平成17年10月に旧釧路市、阿寒町、音別町の1市2町の合併により誕生した新市であり工業用水道はこの内の音別地区に位置している。

昭和45年2月旧音別町の産業の太宗を成していた炭鉱の閉山により人口が半減、自治体としての存続が危ぶまれたことから、市街地隣接地に約100haの工業団地を造成し、産業再活性化の活路を企業誘致に求めたところ製薬工場、電力会社等の進出の決定を見るに至り、これら用水型企业に給水するために釧路市工業用水道事業を開始したものであり、以って地域基幹産業として工業の発展及び経済の振興が図られている。

## ○事業の経緯

釧路市工業用水道は、進出が見込まれる企業を勘案の上、産炭地振興対策である産炭地域小水系用水開発事業の補助を受け、音別川水系を水源として、最終計画給水能力日量20,000m<sup>3</sup>を目標にスタートしたものであり、昭和50年第一期工事として浅井戸等の取水施設、配水管、配水池、管理棟の施工に着手、翌51年10月1日より給水能力7,000m<sup>3</sup>/日で供給を開始し、その後、製薬工場の拡張、グループ関連の食品企業の進出が決定となったことから昭和56年第二期拡張工事として取水施設及び配水池の増設を行い15,000m<sup>3</sup>/日の給水能力を整備したものである。

現在の給水状況は、製薬工場、電力会社を含めた4社に対して日量契約水量9,572m<sup>3</sup>、実給水量は1日平均3,830m<sup>3</sup>（平成19年度）となっている。

## ○ユーザーの概要

(平成20年10月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
医薬品	1	9,200
電力	1	272
食品加工	1	50
繊維工業	1	50
合計	4	9,572

## ○工業用水道施設の概要

釧路市工業用水道の水源は、二級指定河川音別川水系音別川の伏流水及び地下水を浅井戸5井から導水ポンプにより取水、2池の配水池（RC造900m<sup>3</sup>、PC造900m<sup>3</sup>）に貯水し原水のまま自然流下により各企業に給水している。配水管は、管径φ500mm、総延長5.7kmである。

## ○施設の特徴

伏流水及び地下水を水源としていることから年間を通じて濁度がほとんどない良質な工業用水を安定供給することにより企業の水処理コストに係る経費の縮減が図られている。

平成19年度水質検査による濁度の状況

- ・年間最高値 0.070度
- ・年間最小値 0.001度
- ・年間平均値 0.012度

測定機器：透過散乱光型高感度濁度計

## ○施設概要図

